

かもめだより

9月定例会が開催されました!

第2回(9月)定例会が9月14日(水)から10月14日(金)までの31日間の会期で開催されました。以下、9月定例会の要旨をご報告いたします。

市民クラブから3議員が一般質問に立ちました!!

今回の定例会では一般質問の事前通告者が20議員と多く、通常より1日多い3日間を一般質問に割り当てる日程となりました。市民クラブからは、二村議員、渡部議員、梶議員の3議員が一般質問(個人質問)に立ちました。

二村議員の質問要旨

1. 戸田小中学校の教頭兼務について

(1) 教頭兼務の理由について

- ①教頭兼務の根拠について
- ②教頭の役割の認識について

- ③教頭兼務と教職員の多忙さについて

(2) 本市の対応について

- ①現在までの対応について
- ②次年度以降の対応について

教頭の負荷を考えると、兼任ではダメだっ! 専任を配置すべきと思う!



渡部議員の質問要旨

1. 都市公園の管理事務の高度化について

(1) 遊具の効率的な管理(アセットマネジメント)の導入について

- ①既存遊具の老朽化対策の着実な推進について
- ②遊具の長寿命化に向けた現状把握とメンテナンス計画の策定について

2. 少子高齢化における都市公園の新たな役割について

(1) 少子高齢化の進展による公園利用者層の変化について

- ①公園利用者の実態に対する認識について
- ②高齢者の利用増に対する対策の必要性について

(2) 高齢者向け健康遊具の設置促進について

- ①全国的な拡がりを見せる高齢者向け健康遊具に対する認識について
- ②高齢者向け健康遊具の設置計画の有無について



六軒町中道ふれあい公園の健康遊具

少子高齢化の時代、公園利用を幅広く考えてみてはどうだろうか!!

梶議員の質問要旨

1. 本市におけるメンタルヘルス対策について

(1) 具体的施策について

(2) 社会復帰支援について



メンタル対策の第一歩は相談窓口が重要!



本会議での話題っ!!

報告

★専決処分の報告

- ・交通事故損害賠償額の決定3件、道路事故損害賠償額の決定4件、損害賠償額の決定1件、学校事故損害賠償額の決定1件について報告を受けた。

★【一般会計】継続費精算報告書の報告

- ・年度を跨ぐ事業として、①片浜地区センター建設および片浜小学校屋内運動場整備、②第三地区センター建設および第三中学校屋内運動場整備、③下水道中部処理区合流改善事業、それぞれの事業について会計報告を受けた。

その他

★教育委員会委員任命(1名)および固定資産評価審査委員会委員(2名)選任の同意

- ・それぞれの委員会において、市民から選出されたので認定しました。

議案および認定

★平成22年度会計別歳入歳出決算の認定

- ・一般会計 (一般会計予算決算委員会付託)
- ・病院事業会計 (特別会計企業会計予算決算委員会付託)
- ・水道事業会計 (同上)
- ・国民健康保険事業特別会計 (同上)
- ・交通災害共済事業特別会計 (同上)
- ・土地取得事業特別会計 (同上)
- ・老人保健事業特別会 (同上)
- ・下水道事業会計 (特別会計企業会計予算決算委員会付託)
- ・国民宿舎事業会計 (同上)
- ・介護保険事業特別会計 (同上)
- ・簡易水道事業特別会計 (同上)
- ・温泉施設事業特別会計 (同上)
- ・後期高齢者医療事業特別会計 (同上)

● あらたに生じた土地の確認と字の区域の変更〔西浦平沢&内浦小海〕(総務経済委員会付託)

- ・西浦平沢(らららサンビーチ東)と内浦小海を埋め立てたため、土地の確認と字の区域の変更をした。

● 町の区域の変更〔杉崎町〕(建設水道委員会付託)

- ・日の出町の一部(三ツ目ガード北)を、土地区画整理事業の進捗に伴い杉崎町へ変更した。

● 沼津市公民館条例の廃止(文教消防委員会付託)

- ・愛鷹公民館の地区センター化に伴い沼津市内の公民館が無くなったため、「公民館条例を廃止する条例」を定めた。

● 沼津市地区センター条例の一部改正(総務経済委員会付託)

- ・旧愛鷹公民館をH24年4月から愛鷹地区センターとするため「沼津市地区センター条例」を改めた。

● 沼津市スポーツ振興審議会条例の一部改正(文教消防委員会付託)

- ・スポーツ振興法の改正に伴い、沼津市において条例の題名や引用法律名等を改めた。

● 平成23年度沼津市一般会計補正予算〔第3回〕(一般会計予算決算委員会付託)

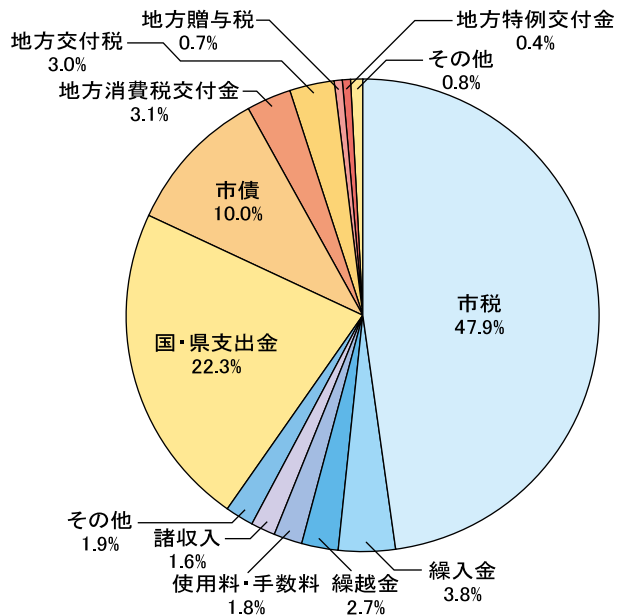
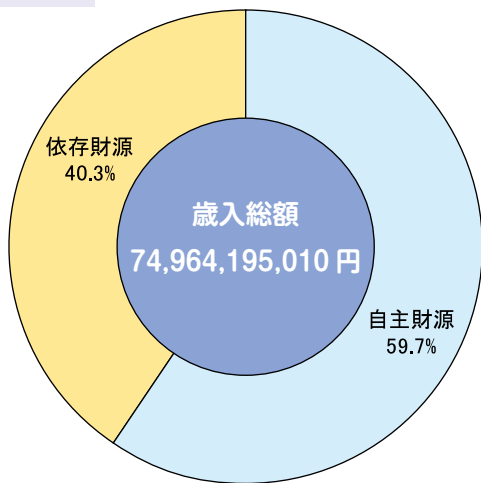
- ・主に岡宮北土地区画整理事業費190,000千円、省エネルギー推進事業30,000千円など当初予算に対して262,042千円追加をした。

● 平成23年度沼津市介護保険事業特別会計補正予算〔第1回〕(特別会計予算決算委員会付託)

- ・主に介護給付費準備基金75,352千円など106,889千円を追加した。

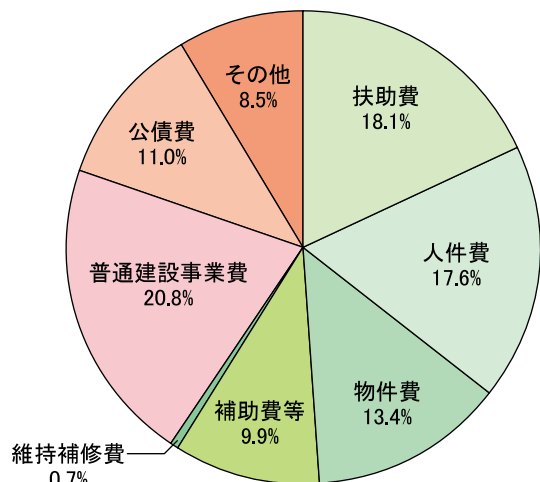
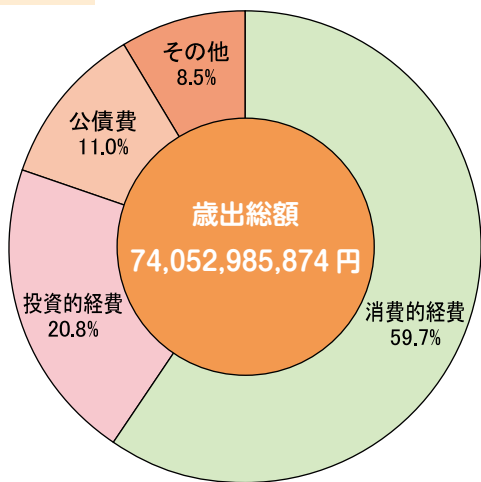
平成22年度 一般会計決算内容

歳入



歳入総額は 74,964,19,010 円で、前年度決算に比べ 0.7%の減少だった。中でも、市税▲1.5%、繰越金▲13.5%となっており、自主財源全体としては▲1.7%となった。一方、地方交付税 86.3%、県支出金 3.5%、市債 0.7%それぞれが増となったため、依存財源は 0.8%増となった。

歳出



扶助費が 28.7%増となったものの、補助費等が▲35.8%となったことから、消費的経費は 2.2%減となった。また、普通建設事業費などの投資的経費が 8.1%増となったほか、公債費は 0.8%増となっている。

<予算と収支>

一般会計の当初予算（期初の予算）規模は 71,530,000,000 円で前年度比 2.7%増であったが、歳入歳出予算の補正は 3,745,630,000 円を追加し、継続費通次繰越額 852,588,000 円、繰越明許費繰越額 3,519,827,000円を合わせた最終予算額は 79,648,045,000円となり、当初予算に比べて 11.3%増となった。また、歳入歳出差し引き 911,209,136 円の剰余金の内、繰越明許費繰越財源 327,239,000 円を差し引いた実質収支額は 583,970,136 円となっている。

特別会計

※カッコ内の数値は昨年度比

国民健康保険事業特別会計

歳入 22,048,120 千円 (4.3%)
歳出 21,257,501 千円 (3.2%)

主な保険給付は、療養給付費126億5,808万円、高額療養費14億1,432万円、出産育児一時金1億3,239万円等となった。

交通災害共済事業特別会計

歳入 17,041 千円 (7.0%)
歳出 17,041 千円 (27.1%)

保険給付は14件256万円となった。本事業は、民間保険制度が充実した事などにより平成21年3月末をもって受付終了し、今期で特別会計を廃止する。

土地取得事業特別会計

歳入 52,588 千円 (▲10.8%)
歳出 52,588 千円 (▲10.8%)

沼津駅周辺整備用地の売り払い(37.6㎡)195万円、社会福祉施設用地4,225万円を取得した。

老人保健事業特別会計

歳入 19,227 千円 (▲51.1%)
歳出 12,154 千円 (▲59.8%)

平成20年4月の後期高齢者医療制度施行により老人保険事業は廃止され、経過措置が終了した事に伴い、今期で特別会計を廃止する。

介護保険事業特別会計

歳入 11,640,687 千円 (5.1%)
歳出 11,617,461 千円 (5.8%)

高齢者人口増加に伴い、第1号被保険者が増加(50,629人)し、要介護等認定者も増加(7,111人)している。介護保険サービス利用者数は月平均6,064人だった。

簡易水道事業特別会計

歳入 10,766 千円 (11.2%)
歳出 7,726 千円 (8.6%)

井田地区の水質管理および水源監視を行い、給水人口82人(年間総配水量16,449㎡)に対して、安全な水の安定供給を遂行した。

温泉施設事業特別会計

歳入 22,675 千円 (▲11.2%)
歳出 20,195 千円 (0.6%)

戸田町の湯温泉の利用状況は、温泉浴場利用者が昨年度比5,117人増加(53,090人/年)したが、温泉スタンド利用は512,300名減少(3,699,700名/年)した。

後期高齢者医療事業特別会計

歳入 1,834,433,784 千円 (3.3%)
歳出 1,827,066,184 千円 (3.2%)

被保険者数は、75歳以上23,457人および65歳～74歳の障害があると認定された673人の合計24,130人であった。また、健康診査は7,086人が受診した。

病院事業会計

総収益 9,653,970 千円 (0.1%)
総費用 10,190,098 千円 (0.2%)

入院患者は113,700人(▲8,263人)、外来患者は179,348人(▲2,227人)だった。純損失は536,128千円で、前年度に引き続き赤字決算により累積欠損金4,380,968千円となった。

水道事業会計

総収益 2,965,949 千円 (15.3%)
総費用 2,549,962 千円 (1.5%)

給水戸数は102,305戸(96戸増)、給水人口は241,666人(1,461人減)となった。平成22年9月に水道料金改定、様々な経営努力の結果、純利益が増加した。

国民宿舎事業会計

総収益 5,549 千円 (-%)
総費用 4,915 千円 (▲23.1%)

伊豆戸田荘は施設の老朽化に伴い耐震性能が低いため平成18年から休業している。平成23年度中に企業積(5,050千円)を繰上償還し会計を閉鎖する予定。

下水道事業会計

総収益 3,862,990 千円 (▲1.0%)
総費用 3,950,556 千円 (1.5%)

下水道普及率は54.0%(1.8%)と年々増加しているが、一般会計からの補助金への依存度が高く、平成22年度は企業会計施行以来、初の赤字決算となった。